



1月の予定				2月の予定							
1	日	元日	16	月	にこにこカー受取	1	水	交通立番	16	木	
2	月	振替休日	17	火	AET(午後)、町図書 団体貸出	2	木	中学校入学説明会	17	金	
3	火		18	水		3	金	縄跳び大会②③ ※変更	18	土	授業参観⑤PTA 総会、卒業写真
4	水	仕事始め	19	木		4	土		19	日	
5	木	プレハブ校舎での 校内作業日	20	金	スキー打ち合わせ 会	5	日		20	月	
6	金	20	21	土		6	月		21	火	Pみずわ製本 作業 19:30
7	土		22	日	お父さんお母さん 授業②③	7	火	5年学級懇談会・P 本部役員会	22	水	
8	日		23	月	振替休業日	8	水		23	木	読み聞かせV 来校
9	月	成人の日	24	火		9	木	児童会選挙、読み 聞かせV来校 SGL 来校	24	金	
10	火	交通立番、始業式 ①、大掃除、通学 班会、給食開始	25	水	スキー教室	10	金	新1年体験入学、 入学説明会、P役 員選考委員会・会 計監査	25	土	
11	水	視力検査、SGL 来校、P本部役員 会	26	木	読み聞かせV来校	11	土	建国記念の日	26	日	
12	木	視力検査、給食週 間、読み聞かせV 来校	27	金		12	日		27	月	
13	金	交通立番	28	土		13	月	振替休業日	28	火	AET(午前)
14	土		29	日		14	火	AET(午後)、町図書 返却・貸出、にこに こカー受取、Pみず わ編集会議 19:30	29	水	
15	日		30	月		15	水	交通立番、P第3 回委員協議会			
			31	火	AET(午前)						

教育トピック 手書きの文字は、人の心に届く「年賀状のお礼から」

前号でも紹介しましたが、85歳以上の佐濃地区のお年寄りに年賀状を書き、送る取組を佐濃地区の協力を得て行いました。年が明けて、年賀状のお礼が学校や書いた児童の家へも届き始めました。

その文面を読ませてもらっていると、子ども達の丁寧で心のこもった手書きの年賀状が地域のお年寄りの皆さんの心にしっかりと伝わったことが大変よくわかります。中には気持ちは伝えたくても、年齢等によってうまく書けないので、娘さんに代筆で返事を届けていただいた方もおられました。

年賀状が届いたことに感激してもらえ、子ども達の成長を地域の人たちが願ってくれていることに、子ども達だけでなく、教職員も本当に温かい気持ちになりました。子どもたちは、新年からプレハブ校舎での学校生活となります。また機会がありましたら、新しい学校を見に来ていただければと思います。お礼の年賀状、ありがとうございました。



新年明けましておめでとうございます

校長 岡井 龍彦

平成24年(2012年)、新しい年を迎えました。改めまして新年のご挨拶を申し上げます。昨年中は、本校教育推進のためにご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、3学期が本日より始まりました。児童は冬休み中、家族の皆さまと過ごした楽しい気持ちを胸に元気に登校してまいりました。登校するのは、新しい仮設校舎です。佐濃小学校のグラウンドに2学期建築された耐震構造の仮設校舎の教室へ元気にやってきました。PTAの皆さま方には、年末の25日という大変お忙しい中、また、大雪の中、思い出の校舎から仮設校舎への移転作業をお手伝いいただきまして、本当にありがとうございました。お陰さまで、全ての移転作業を終了して、新しい仮設校舎での学習の準備を整えることができました。

今日の始業式では、次のようなことを式辞として話しました。

皆さんに、3学期を迎えるに当たり、「有終の美」ということばを贈ります。これは、「最後までのごとをしっかりとやり遂げる」という意味のことばです。3学期は、この新しい仮設校舎での学習と生活が始まります。皆さんは、2学期の終業式の後の閉舎式で、思い出の校舎とお別れをしました。お別れをするにあたり、これまでの感謝の気持ちを込めて校舎をととてもきれいに掃除してくれました。また、児童会の取組で思い出の場所について手紙を書き、「思い出レター」を全校のみんなに発表してくれました。そして、3学期の準備のために、みなさん全員がこの新仮設校舎への引っ越し作業をととても積極的に手伝ってくれました。皆さんの頑張りで大変効率よく引っ越しを完了することができました。本当にありがとう。このように2学期は、思い出の校舎での「有終の美」を飾ることができました。

さて、今日から始まる3学期は、年間で一番短い学期です。そこで、皆さんが1・2学期に自分の力を伸ばすためにいろいろな挑戦をしてきましたが、それを最後まで続けて、修了式には、「やりきれた」「頑張り抜いた」「自分でできるようになった」という喜びを味わってほしいと思うのです。学習への挑戦・体づくりへの挑戦・仲間と協力する力をつける挑戦などいろいろな各自の目標になっている挑戦を継続して本物にしてほしいと思います。この新しい仮設校舎は、PTAの皆さんや全校児童の皆さん、そして先生方や教育委員会の皆さん方の多くの方々にお世話になって引っ越しを終え、学習の準備が整いました。教室はとても明るく、新品の黒板は、新年にふさわしいものとなっています。新しい、そして地震がきても安全なこの仮設校舎で、しっかりと自分の力を伸ばしてください。そして、次の学年に自信をもって進級できるように頑張りましょう。特に6年生の皆さんは、小学校生活最後の学期となります。6年間の「有終の美」を飾るには、どのような気持ちで、どのような生活をしたらよいのかをしっかりと考えて1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。悔いを残さない3学期にしてください。先生たちも、皆さんと一緒に頑張ります。



学校教育目標 一人ひとりに確かな学力をつけ、豊かな心を育てていく学校

めざす児童像

「自分の力と可能性を信じて一生懸命努力し、伸びゆく佐濃っ子」

◇粘り強く考える子

◇失敗を恐れず挑戦する子

◇明るく感謝の気持ちが表せる子

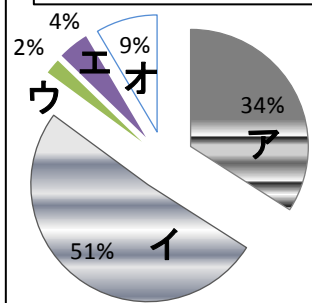
◇進んで体を鍛える子

保護者の皆さんからのアンケート結果 第2弾!!

12月に保護者の皆さんにお願いし実施しましたアンケートの結果について全体の集計結果についてお伝えします。また、いただいたご意見等についても、学校としての回答という形で保護者の皆さんにできるだけ早くお伝えしたいと考えています。結果と意見等については、今後の学校をよりよくしていくための貴重な資料とさせていただきます。

ア 当てはまる
イ やや当てはまる
ウ やや当てはまらない
エ 当てはまらない

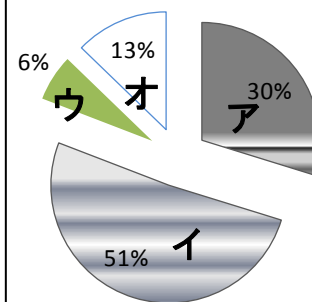
1 学校は、子どもが理解しやすいよう指導の工夫をしている。



◇当てはまる、やや当てはまるを合わせると8割を超し、昨年度の評価も上回っています。またわからないという回答も昨年度より減り、理解しやすい指導の工夫への評価がさらに高まっていると考えています。

◆当てはまらないと回答する保護者もまだあることから、理解しにくい児童への指導方法等について今後も連携しながら指導を進めていく必要があると考えています。

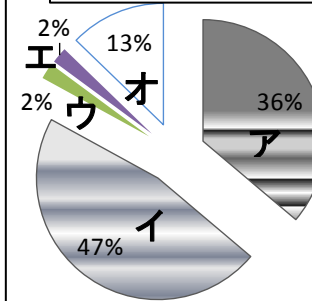
2 学校は、学習内容を十分に定着させるために、授業以外の取組もていねいに行っている。



◇各担任、学校としての取組等により、当てはまる、やや当てはまるを合わせると8割を超すなど、保護者からの理解は依然あると考えています。

◆昨年度よりア、イの合計が下回っていることから、学習内容を定着するための取組についての評価はあるものの、学習への意欲付けや補習の内容等に物足りなさを持つ保護者もあることも踏まえ、3学期の取組等を進めていく必要があると考えています。

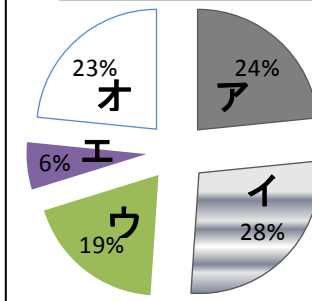
3 学校は、通年の読書タイムや啓発等により、読書に親しむ子どもの育成に努めている。



◇当てはまる、やや当てはまるを合わせると8割を超し、不十分と感じている家庭は数家庭となってきており、昨年より減っています。日々の担任の取組や児童会、PTAと連携した取組等により、理解が進んでいると考えられます。

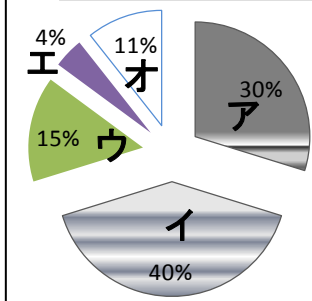
◆学校だけでなく、家庭での読書の充実に向け、今後も家庭との連携した取組が必要であると考えます。

4 学校は、学習や生活で困っている子どもに対してきめ細かな支援を行っている。



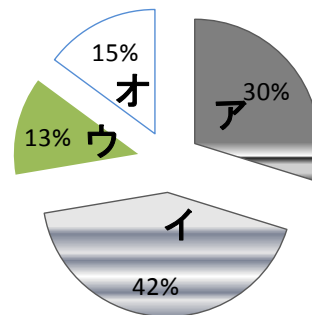
◆当てはまる、やや当てはまるを合わせると半数とはなったものの、不十分と感じる保護者、わからないとする保護者も1/4ずつあります。保護者との支援等に対する連携が十分でなく、支援や取組等について伝わっていないケースもあるのではないかと感想等からも考えられます。今後さらに、保護者の思い等についても積極的な連携によって情報をつかみ、支援を進めていく必要があると考えています。

5 学校は、子ども同士がお互いのよさが認め合える活動を積極的に取り入れている。



◆当てはまる、やや当てはまるを合わせると昨年度は9割を超していましたが、本年度は7割にとどまっています。通信等を通じての家庭への良さの発信はできていると考えていますが、家庭との双方向（家庭訪問・学校への来校時、電話等）の連携に不十分さを感じる保護者が多いことが読み取れます。今後、積極的な双方向の家庭との連携を強めていくよう教員全体で意識し行動として表していく必要があると考えています。

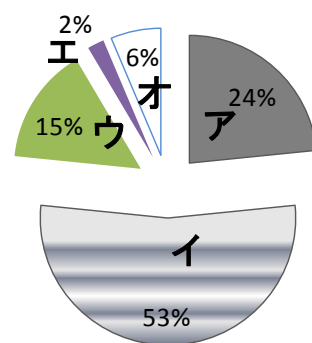
6 学校は、子どもが粘り強く挑戦したり、思いやりの心を持って接したりするよう指導をしている。



◇当てはまる、やや当てはまるを合わせると7割となっている。

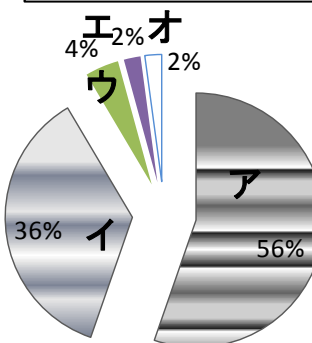
◆不十分と感じる家庭も数家庭あります。その感想等から、子どもへの思いやりの心についての指導では、担任と子どもの信頼関係が大変重要であると考えられていることがわかります。今後は楽しさと厳しさのバランスを考えた学級経営をより一層進めていくようにしたいと考えています。

7 学校は、全校的な取組により、体力・持久力の育成を図っている。



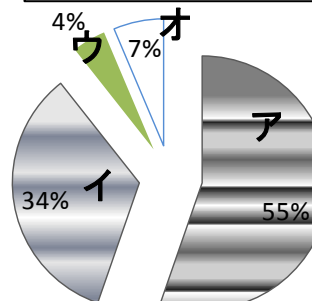
◇当てはまる、やや当てはまるを合わせると約8割となり、昨年度の評価よりやや下回るものの、体力づくりの取組についての評価は一定高まっていると考えられます。

8 学校は、学校だよりや学級通信等で学校の様子や子どものよさを分かりやすく発信している。



◇昨年同様、ほとんどの保護者が、当てはまるかやや当てはまると回答しており、学校及び学級での通信を活用しての発信は評価が確実に高まっていると考えられます。

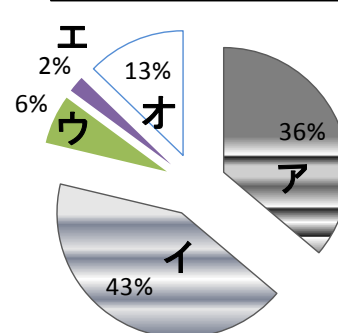
9 学校は、保護者、地域への学校公開を積極的に行っている。



◇当てはまる、やや当てはまるを合わせると昨年同様、約9割となり、学校での取組への理解は得られていると考えられます。

◇今後も本物の文化に触れる機会としても位置付けながら取組を進めていきたいと思えます。

10 学校は、PTAや地域と一緒に取組を重視し、連携の強化を図っている。



◇当てはまる、やや当てはまるを合わせると約8割となり、昨年度とほぼ同様の結果となり、学校での取組への理解は得られていると考えられます。

◆しかし、不十分、わからないの回答を合わせるとまだ2割あることから、今後も地域やPTAと連携した活動を積極的に進めていく必要があると考えます。